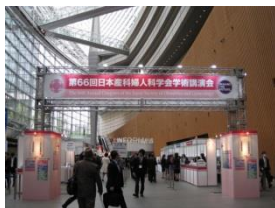


第66回 日本産科婦人科学会学術講演会



学術集会会長:筑波大学医学医療系産科婦人科学教授
吉川 裕之

開催地:東京都

会場:東京国際フォーラム

会期:平成26年4月18日(金)、19日(土)、20日(日)



第66回日本産科婦人科学会学術講演会は、4月18日(金)から20(日)、東京で開催されました。初日は小雨に見舞われたものの、さわやかな気候のもと行われました。また、本学会では過去最高の7800名を超える医師・研究者が参加して学会を盛り上げました。

東北大学では、菅原 準一教授が、生涯研修プログラム クリニカルカンファレンス-Subspecialtyを超えて(生殖・周産期)として、「生殖医療による母体・胎児へのリスク」と題して発表を行いました。



生涯研修プログラムにて



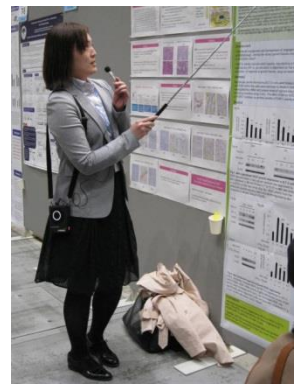
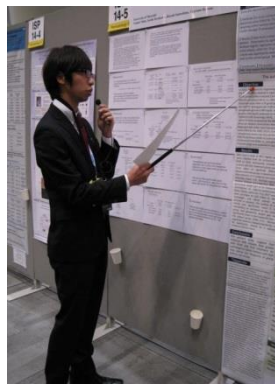
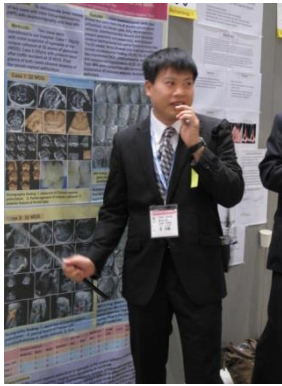
ミニワークショップより2名

本学会ではミニワークショップとして倉片 三千代、築地 謙治の2名が発表を行い、活発なディスカッションが行われました。

また、このミニワークショップで
築地 謙治先生が優秀賞演題を獲得しました。



閉会式にて



IS ポスターセッションより4名

IS ポスターセッションではYupeng Dong、濱田 裕貴、渋谷 祐介、只川 真理の4名が発表を行いました。



情報交換会にて

また、このIS ポスターセッションで、濱田 裕貴先生、只川 真理先生の2名がIS Good Poster Award を獲得しました。

当科では一般演題として14名が発表し、座長を8名の先生方が務めました。本学会では東北大学から多くの演題が出され、何事もなく無事に発表・座長を行うことができました。皆様お疲れ様でした。

座長:新倉 仁、八重樫 伸生、木村 芳孝、渡部 洋、有馬 隆博、杉山 隆、永瀬 智、高野 忠夫

一般演題:北谷 和之、石橋 ますみ、岡本 聡、星 紗弥加、杉山 隆、伊藤 拓哉、飯田 溪太、斉藤 昌利、土岐 麻実、鈴木 史彦、佐藤 いずみ、永井 智之、木村 芳孝、増子 さつき(代理:重田昌吾)